



園だより

文京区立第一幼稚園
令和元年度1月号

未来をつくる子供たちに

園長 田村 秀子

新年 おめでとうございます。始業式で目を輝かせながら話を聞いている子供たちを見て、ご家族でいいお正月を過ごされたことが伝わってきました。一人一人が自分の力を発揮し、さらに大きく成長する年になるよう、豊かな環境づくりや日々の丁寧な援助に努めたいと思います。

保護者の皆様には昨年末の餅つき会で、地域の方も交えてお父さん同士、お母さん同士でコミュニケーションをとりながら役割を果たしていただき、ありがとうございました。中国、インド、アメリカ、フランスなど様々な国とかかわりのある方々が増える中、英語や中国語も交えてコミュニケーションをとってくださり、子供たちを真ん中にして、力を合わせるよい環境ができてきていることを嬉しく思います。

さて、今年はねずみ年です。器用に動き、どんな環境にも適応して子孫を増やしていくネズミのように、時代の変化に対応しながら、様々なことに挑戦し、自分らしく、たくましく生きていきたいものです。世界中で異常気象や経済格差、不安定な国際関係など心配なことが多い世の中ですが、東京オリンピック・パラリンピック開催の年でもあります。少しでも明るい年になるようにと願っています。来年度の年長児がパラリンピックを観戦する予定です。

暮れからお正月にかけて今年もいろいろなことがありました。私は目黒で育ち、渋谷駅にたくさんの思い出がありますので、銀座線の工事が気になり、年末から買い物のついでに工事中の駅を見たり、年が明けると完成した新しい駅から電車に乗ったりしました。旧駅から新駅まで130m移動したホーム、ハート型にカーブした柱のない天井を見て、日本の技術はすごいと思いました。また明治通りの横を流れる川の横に作られた渋谷ストリームの2階のコンクリートの中に、東横線のレールが残っており、ここが線路だったと分かる設計になっていることにも感動しました。新しい技術を駆使しながら、古いものも残し、様々な人の思いを大切に設計や工事が進められてきたことを感じます。

子供の時に体験したことは、ずっと心の中に残っていくことでしょう。そして新しい技術を開発している方々も、子供時代は遊びの中で様々な工夫をしていたかもしれません。

昨年、年長組の遊園地ごっこでも、車を作るグループの子供たちが、段ボールをどのように切ってドアにするかで揉めていました。「ドアは広くないと乗れないよ」と言う子、「たくさん切ったら壊れる」と言う子、「ここは切って、ここは切らないで」といろいろな切り方を考える子など、よく話を聞いていくと、乗りやすさと強度を子供なりに考えているようでした。先生が入り、お互いの意見をよく聞いて理解した上で、どの線を切るか相談して決めたようです。それでも乗ってみたら思うようにならないこともあったようで、試行錯誤を繰り返してやっと完成しました。

このような体験が、いつか自分のやりたい仕事を見付ける時や、チームでプロジェクトに取り組む時などにきっと生きていくのではないかと思います。心も頭も体も使って全力で遊んでいる子供たちの未来が楽しみです。

今年も自分のやりたいことができ、共感してくれる大人や友達がたくさんいる幼稚園、やり遂げた満足感や自分への自信をもつことのできる幼稚園であるよう、皆で力を合わせてまいります。保護者、地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。